

青谷「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況 H30年1月末現在

項目名	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度				27年度				28年度				29年度				担当課				
		短期	中期	長期																					
		～29年度	～31年度	～35年度	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の方向性						
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	地域生活拠点の整備 【生活基盤の充実】 【工業の振興】	○青谷憩いの場整備等			・青谷憩いの場整備工事 ・青谷憩いの場設計業務	35,900	24,471	達成	・継続	・福井田川親水護岸設計業務 ・旧中央公民館解体設計業務	10,300	5,999	達成	拡大	・福井田川親水護岸整備工事 ・中央公民館解体工事等 ・排水ポンプ設計業務 ・青谷駅前広場設計業務	57,332	53,332	達成	・継続	・青谷中央広場(仮称) 整備事業(旧青谷中央公民館(講堂)解体工事) ・JR青谷駅前広場整備事業(工事) ・JR青谷駅前バス待合所整備事業(設計業務) ・排水ポンプ増設事業(用地買収)	74,571	決算見込額 51,455 + 次年度 繰越額 13,366	達成	・継続	青谷町総合支所 産業建設課 都市企画課
		○JR駅前広場周辺整備等	○JR駅前広場周辺整備等																						
		○企業誘致	○企業誘致	○企業誘致	立地可能な用地の把握														誘致に向けて検討していく。		継続	青谷町総合支所 地域振興課 産業建設課 企業立地・支援課			
地域活性化イベントの再構築	○鳥取市西いなば地域振興グランドデザインとの連携 ○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着			現状把握・見直し検討、関係機関等との協議	3,701	3,695			各種イベントを大幅に見直し、地域資源、暖かいの創出を主題とした取り組みへの方向転換を推進した。	3,701	3,677			和紙産地強化事業 ・「因州和紙フォーラム」を10/15にとりぎん文化会館で開催し、因州和紙の価値を再認識しながら、その進むべき方向などの意見発表等を実施した。 ・「因州和紙フェスタ＆ひおき収穫祭」を11/20に和紙の里青谷町日置地区で開催し、和紙産地の活性化を図った。 ・手すき和紙保存事業として、伝統技術の保存、継承に向けた取り組みを行った。 青谷ようこそ市場「あおいち」事業 6月～11月まで毎月1回計6回実施、バザーやイベントを実施した。まちなか周遊も大学生の企画として取り入れるなど、新たな展開を図った。	3,016	3,016	達成	・継続	伝統産業である因州和紙の産地強化とまちなかの暖かいを目的とした定期開催イベントに取り組んだ。 ・因州和紙フェスタ＆ひおき収穫祭(11/19)、手すき和紙伝統技術の保存、継承事業ほか ・青谷ようこそ市場(通称:「あおいち」)開催 6回(6/4、7/2、8/11、9/3、10/1、12/15) 事業場所:青谷町駅前 通称:青谷暖かい広場(青谷ようこそ市場前)及び夏泊漁港	3,016	3,016	達成	・継続	青谷町総合支所 地域振興課
地域コミュニティの充実 【協働のまちづくりの推進】	○各地区のまちづくりリーダーの発掘 ○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討			まちづくりリーダーの発掘、新たな若者団体の育成に繋げるため、地域振興特定予算の見直しを行った。					元気塾13団体、個人10名が開催された8回の講座にそれぞれ参加した。また、井手ヶ浜で交流講座サンセットコンサートを開催するなどの動きが出ている。このような状況のさらなる浸透を図り、新たなまちづくりリーダーの発掘に繋げていく。			達成	・継続	元気塾の各講座に団体・個人の参加呼びかけを行い、各団体・個人からそれぞれ参加があった。 各地区のまちづくりリーダーの新たな発掘まで至らなかった。		一部達成	・継続	青谷町総合支所 地域振興課						

青谷 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況 H30年1月末現在

項目名	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度					27年度					28年度					29年度					担当課		
		短期	中期	長期	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算見込額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性			
		~29年度	~31年度	~35年度																							
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり ①「卓球のまち青谷」の復活 ②国際交流事業の継続、拡大 ③保育園、小中高との連携強化 【教育の充実】 【スポーツ・レクリエーションの振興】 【ビジットとっとりの展開】 【交流拠点の魅力創出】	①青谷高等学校存続に向けた組織立ち上げ ②「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球大会の開催 ③各種イベント等への参画 ④留学生の受け入れ ⑤郷土愛を育む事業（青谷再発見、子どもガイド養成） ⑥留学生の受け入れ ⑦人材育成（通訳等） ⑧郷土愛を育む事業（青谷再発見、子どもガイド養成） ⑨国際交流イベントの推進				・12月、青谷高等学校存続に向けた組織「青谷高校のあり方を考える協議会」を立ち上げた。					「卓球のまち青谷復活」に向け、8月に高校卓球部員による卓球教室を開催した。 近府県の中学校の参加による「第1回青谷オープン卓球大会」を開催し、地域、高校一体となって取り組んだ。 市及び青谷高等学校の共催事業である「日中韓高校生国際シンポジウム」を開催し、国際交流の意識を高めた。 青谷高校生と地域の繋がりを強めるため、各種イベント等への参画を行った。					青谷高等学校の平成28年度の入学者が激減したことを受け、コーディネーターの設置に向けた視察等を行った。 2回目となる、高校卓球部員による卓球教室を9月18日にトレーニングセンターで開催した。 第2回青谷オープン卓球大会を11月12日・13日、トレーニングセンターで開催した。昨年より参加チーム数も増え、また、大会の存在も県内外に広まりつつある。 「日中韓高校生国際交流事業」を9/13～15に青谷高等学校ほかで実施し、中国、韓国の高校生と青谷高校生が交流した。					達成	継続	「青谷高等学校のあり方を考える協議会」に代わる新たな組織「青谷高等学校活性化を支援する会」を立ち上げ、地域との連携を強化し、魅力アップを目指した。 3回目となる、高校卓球部員による卓球教室を8月27日トレーニングセンターで開催した。 第3回青谷オープン卓球大会を11/18・19に開催。県中体連をあげて大会参加協力があるなど、大会の存在も県内外に広まってきた。 韓国居昌中央高等学校との相互交流等による学校間交流を実施。(青谷高校事業・予算)			達成	継続	青谷町総合支所 地域振興課

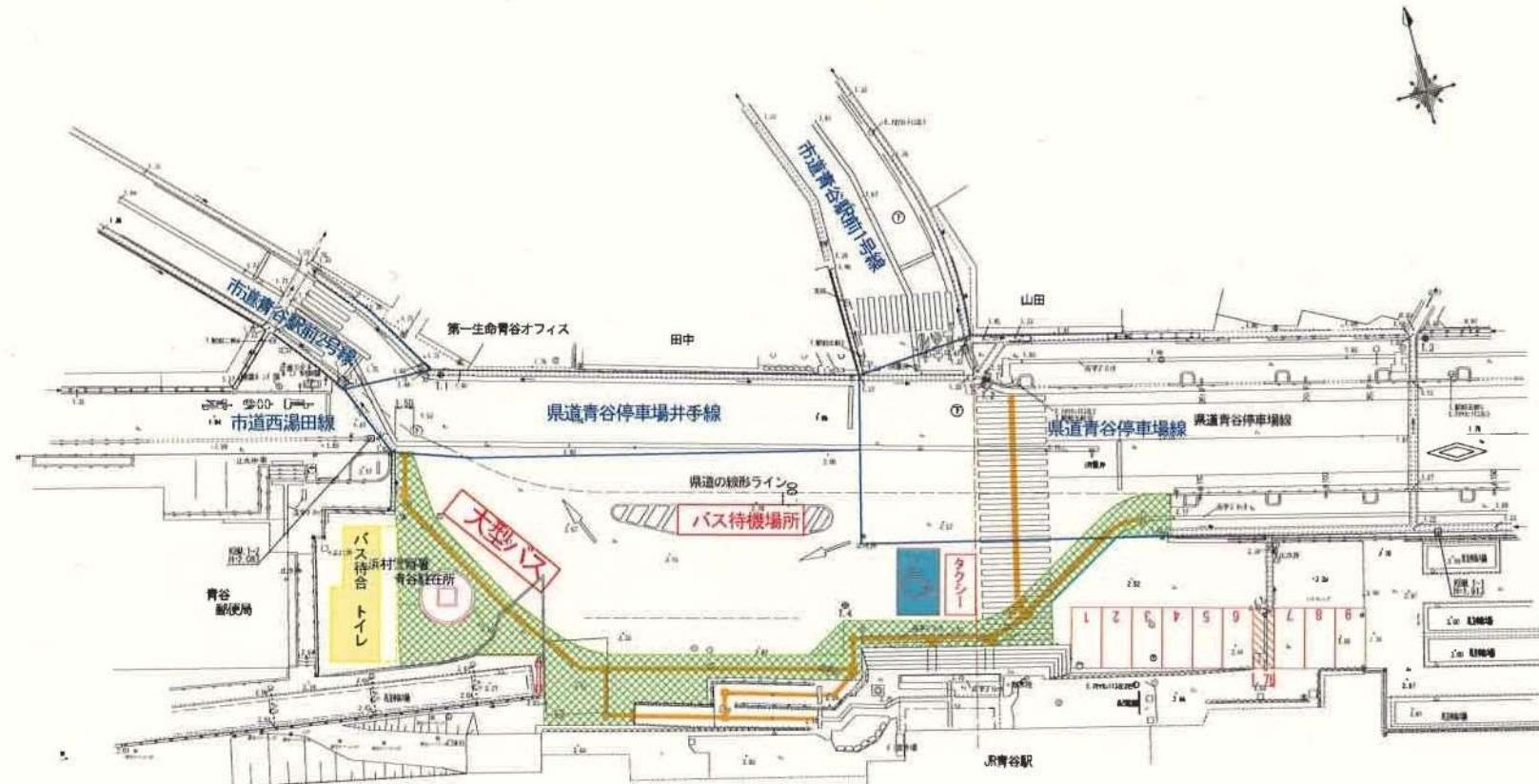
青谷 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況 H30年1月末現在

項目名	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度					27年度					28年度					29年度					担当課									
		短期	中期	長期	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算見込額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性										
		~29年度	~31年度	~35年度																														
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	地場産業の育成 【農林水産業の振興】 【ビジットどっとりの展開】	○地場産業の現状把握			生産品目・出荷量調査 ・農産物・加工品等 ・因州和紙 農業公社を中心とした市場調査と販売網の拡充 ・都市交流(池田市) ・ふるさと納税 JA農業施策 担い手育成と後継者の確保					生産品目・出荷量調査 ・農産物・加工品等 ・因州和紙 農業公社を中心とした市場調査と販売網の拡充 ・都市交流(池田市) ・ふるさと納税 JA農業施策 担い手育成と後継者の確保						市民活動を通し特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR ・8/2 池田市表敬訪問(農業公社、農業者、支所) ・8/27 池田市民力一二パル(農業公社、支所) ・11/18～19池田市農業祭(公社、農業者、支所) ・11/19～20池田市農業祭(公社、農業者など計6名)					市民活動を通し特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR ・8/26池田市民力一二パル(農業公社、支所) ・11/18～19池田市農業祭(公社、農業者、支所) ・池田市ふるさと納税の謝礼品に利用 ・池田ダイハツ工業生活協同組合との特産物販売													
		○特產品の販路拡大	○特產品の販路拡大	○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保																												
		○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大			夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	194	194			漁村地域交流人口の拡大 ・PR活動 ・開催日数の増加	200	200			夏泊定置網朝市のPR ・あおいちなどの町内各イベントに参加し夏泊定置をPR ・地元住民のSNS発信支援 ・地区公民館料理教室に参加し魚食普及促進(1月) 夏泊定置で水揚される鮮魚を利用して加工販売する第6次産業化の検討 ・9/27 先進地視察(赤崎漁協)					夏泊定置網朝市の継続実施及びあおいちや各地区イベントへの参加でPR活動を実施する。														
		○ジオ関連ガイドの養成・活動開始								H28.3 青谷町ガイドネットワーク設立					青谷町ガイドネットワーク ・例会の開催 ・11/27青谷地域「魅力・輝き」発見発掘ツアーを実施した ・9/17勝部地区モニターツアーに協力した。	90	90	達成	継続	青谷町ガイドネットワーク ・例会の開催により情報共有を図った。 ・青谷町ガイドマップの作製 ・2/17青谷地域「魅力・輝き」発見発掘ツアーを実施予定														

青谷 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況 H30年1月末現在

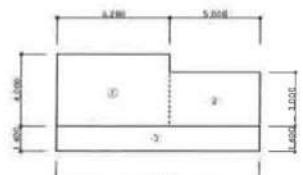
項目名	目標 【基本計画・施策】	推進期間			26年度					27年度					28年度					29年度					担当課
		短期	中期	長期																					
		~29年度	~31年度	~35年度	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算見込額 (千円)	目標達成度	事業の 方向性	
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり 歴史的資源等を磨き上げ交流人口を増加 【文化財の保存・活用】 【ビジットとつりの展開】	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用協議会の支援 JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討する。 青谷再発見ツアーを実施した(5/24) こばしまウォークを実施した(11/3)	2,000	1,662			青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,997			青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,887	達成	継続	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の支援	2,000	1,800	達成	継続	文化財課	
																				JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討する。					青谷町総合支所地域振興課
																				青谷再発見ツアーー 5/16実施(18人参加) ・こばしまウォーキング 11/3実施(99人参加)	7	0	達成	継続	教育委員会 青谷町分室
③安心・安全なまちづくり 【地域防災力の充実】 避難行動要援護者支援制度への登録啓発(新規登録、追加登録の促進) 【地域福祉力の向上】 ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置の啓発 【地域福祉力の向上】	○自主防災組織の体制整備・連携	○自主防災組織の体制整備・連携	○自主防災組織の体制整備・連携	市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 6自主防災会実施	500	335			市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 11自主防災会実施	500	417			市補助事業の活用 防災資機材整備補助金(H28まで) 12自主防災会実施	500	585	達成	継続	市補助事業延長(H29まで) 防災資機材整備補助金3 自主防災会実施(未実施10)	650	298	達成	廃止	青谷町総合支所 地域振興課	
	○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発及び地域との連携	6月に中郷地区、7月に日置谷地区への説明会を実施し、未取組地区的解消に努めた。					区長文書を通して区及び市民に対しての登録啓発を行った。					町内各地区区長会で説明と取り組みを依頼した。 民生委員さんへも本事業を説明し、それぞれ担当地区への啓発を依頼した。			達成	継続	青谷町自治連合会研修会・地区座談会で説明を行い、引き続き登録啓発を図った。民生委員さんへも本事業を説明し、それぞれ担当地区への啓発を依頼した。			達成	継続	青谷町総合支所 市民福祉課	
	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	10月に青谷地区で説明会を実施し、事業の啓発を行った。					2月の区長研修会で事業の説明を行った。					青谷町自治連合会研修会で説明を行い、ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を中心設置の啓発を始めた。民生委員さんへも本事業を説明し、それぞれ担当地区への啓発を依頼した。			達成	継続	青谷町自治連合会研修会・地区座談会で説明を行い、引き続き設置啓発を図った。民生委員さんへも本事業を説明し、それぞれ担当地区への啓発を依頼した。			達成	継続	青谷町総合支所 市民福祉課	

JR青谷駅前広場 整備計画平面図



面積表

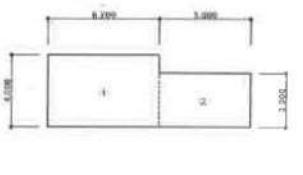
申請建物	
敷地面積	278.66 m ²
建築面積	55.48 m ²
床面積	39.80 m ²
建ぺい率	19.91 %
容積率	14.29 %



面積面積合計面積

(1) 8.100 × 4.000 32.400
(2) 5.800 × 3.000 17.400
(3) 11.200 × 1.800 20.160
建築面積合計 55.480 m²

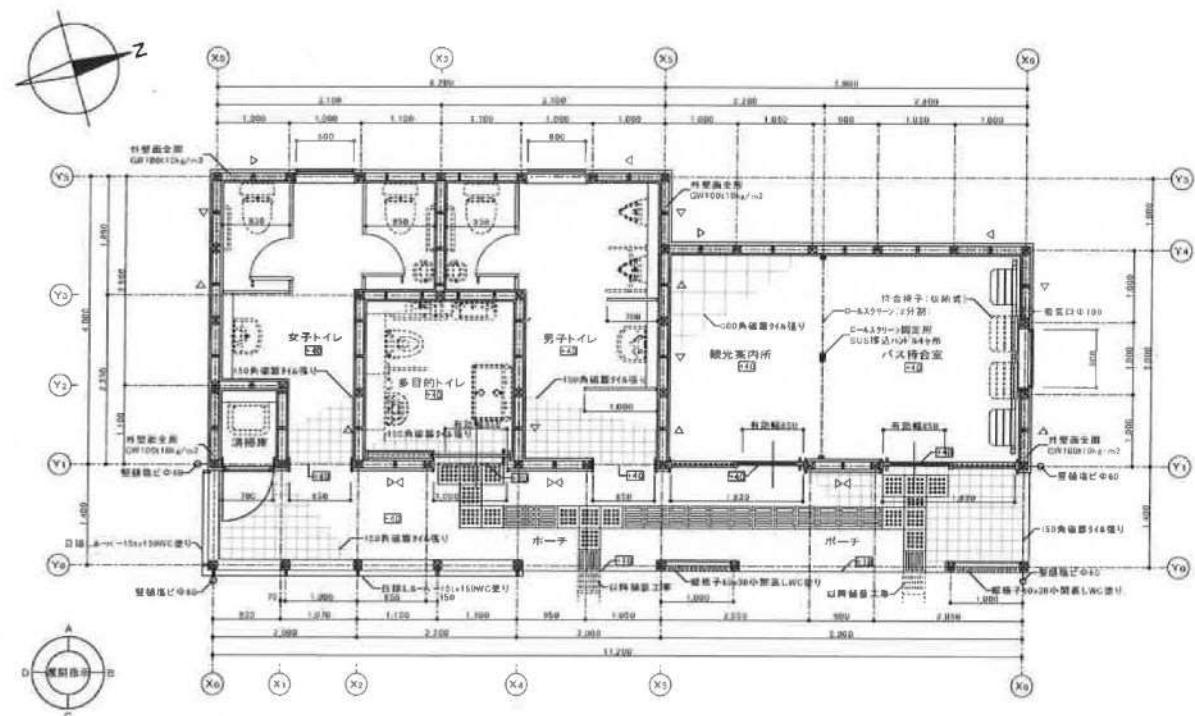
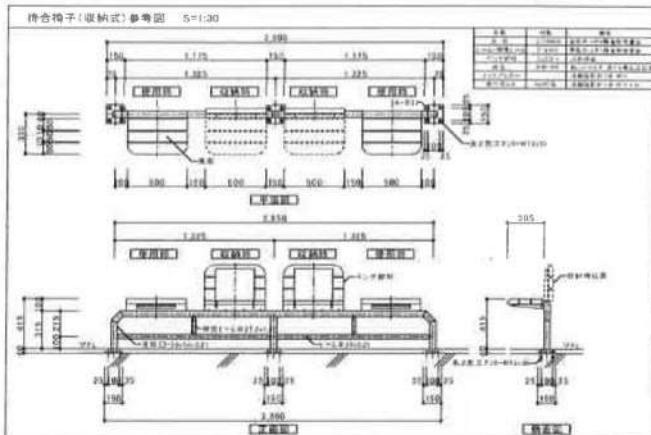
面積面積合計面積 S=1:200



面積面積合計面積

(1) 8.200 × 4.000 32.800
(2) 3.800 × 3.000 11.400
(3) 11.200 × 1.800 20.160
床面積合計 55.480 m²

床面積合計面積 S=1:200

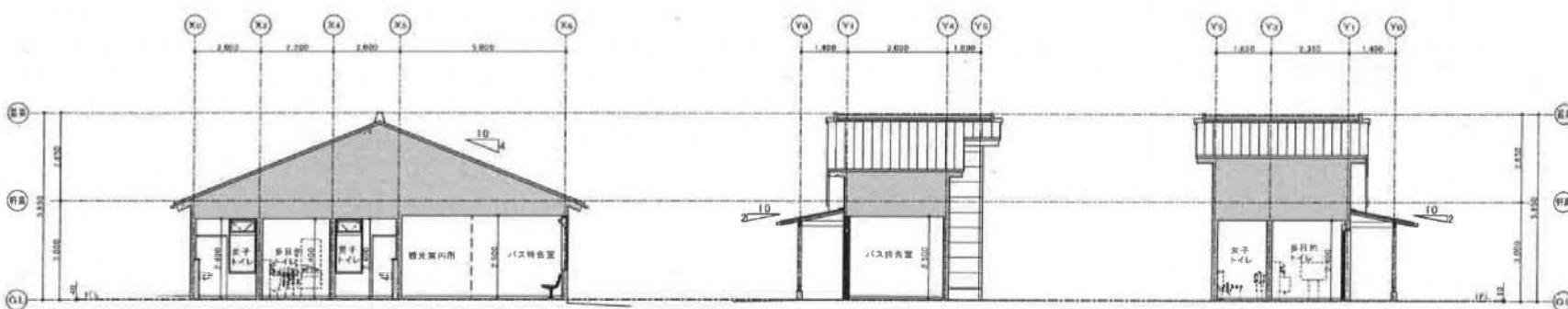
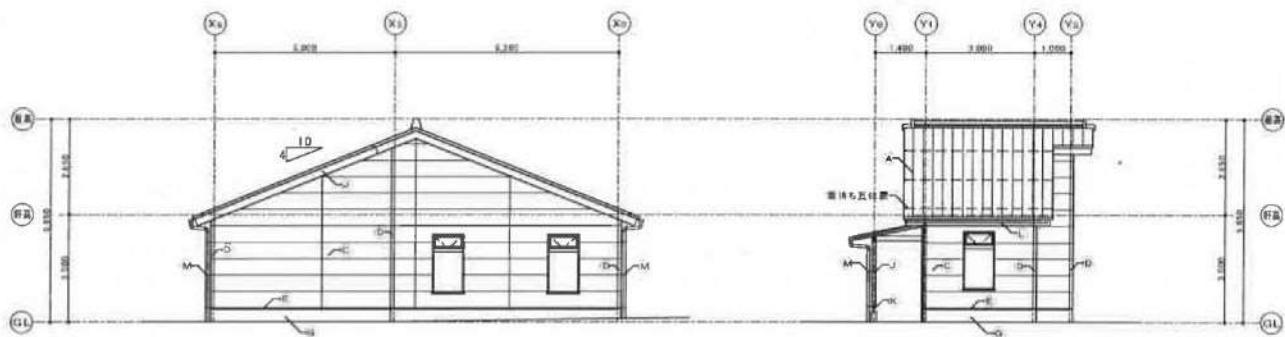
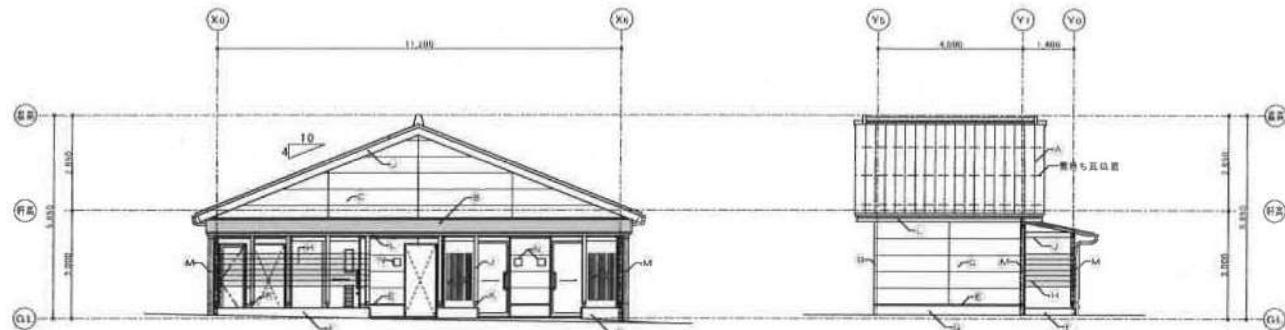


記号	説明
■	木造無垢
□	柱100×100角
△	スルカイ45×90(壁面高2.0倍)
▷△	スルカイ45×90(たて掛け(壁面高4.0倍))
—	軒高口寸100
■ ■	便器排泄用タイル(便器底面+便器高さ)200×300, 150×150
□□	□上りのレベルを示す。

平面詳細図 S=1:50

有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 東京都多摩市多摩川15号 責任建築士 保木本 勝一	CHIEF DESIGN DRAW PROJECT NO.	TITLE	DRAWING NAME	SCALE	NO
			青谷駅前バス待合所新築(建築)工事	平面詳細図、求積図、面積表、待合椅子参考図	1:50 1:200	A-10

記号	内容
A	日本瓦積重き
B	GLカラーリング0.4-1文字重き
C	高層系サイディング引張り
D	高層系サイディング151コーナー取扱物
E	GLカラーリング0.4木目柄引
F	コンクリート打放し仕上げ
G	モルタル塗り刷毛引き仕上げ
H	白漆し木目ルーバーWC塗り
I	木製椅子WC塗り
J	木製WC塗り
K	SUS仕面金物
L	壁面塗装色型114内窓り金物#450
M	壁面塗装ビニル柄み金物#100
N	ピクトサイン200x200



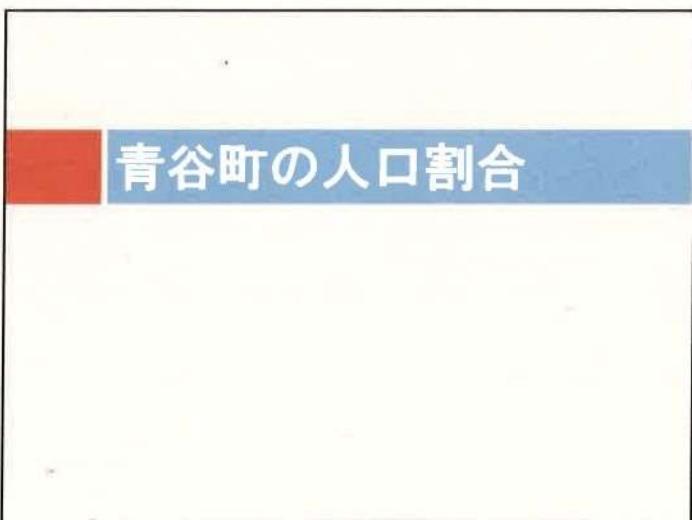
有限会社 保木本設計	一級建築士事務所 登録販賣業者登録番号 登録販賣業者登録番号 登録販賣業者登録番号	一級建築士登録 第130287号 登録販賣業者登録番号 登録販賣業者登録番号	CHECK	DESIGN	DRAW	PROJECT NO.	TITLE	DRAWING NAME	SCALE	NO
							青谷駅前バス待合所新築(捷蓋)工事	立面図、断面図	1:100	A-11

青谷中央広場基本計画平面図（案）



データで見る 青谷町の健康福祉

青谷町総合支所市民福祉課 保健師 長尾真弓



青谷町内の人団割合(地区公民館別)

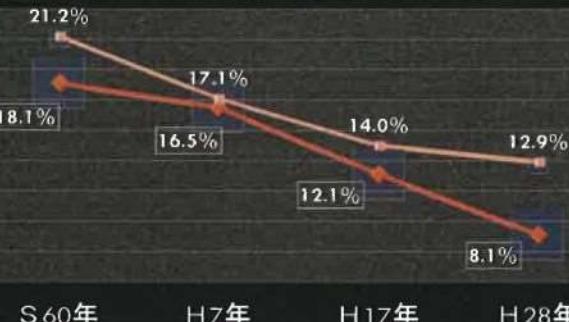
平成27年9月30現在(鳥取市高齢社会課データより)

年齢構成別割合(青谷町)



青谷町内の少子化率の変遷

◆少子化率〔青谷町〕 ◆少子化率〔鳥取県〕



青谷町の成人・高齢者保健福祉

平成28年度特定健診受診者 (各年齢層における対象者に対する割合)

平成28年度特定健診受診者年齢層別内訳 (各年齢層における対象者に対する割合)



青谷町の年齢層別受診者数とその割合

年度	平成28 40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-75歳
受診者数	20人	37人	255人	144人
総数に対する割合	4.4%	8.1%	55.9%	31.6%

メタボ該当者及び予備軍の割合

* 「青谷町」の項目は5地区の割合の単純平均にて示す。参考値として利用。以下同様。

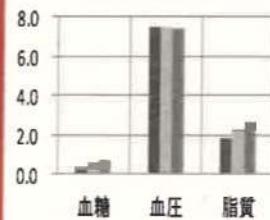


有所見者割合(単独・複合リスク)

—平成28年度国保データベース(KDB)より—

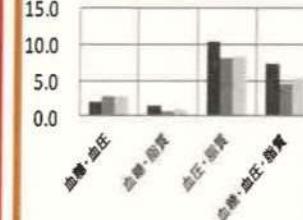
有所見割合(単独リスク)

■青谷町*1 ■県 ■国



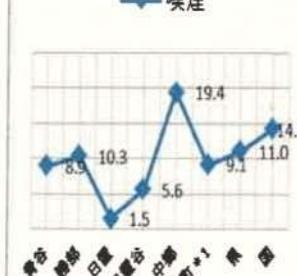
有所見割合(複合リスク)

■青谷町*1 ■県 ■国



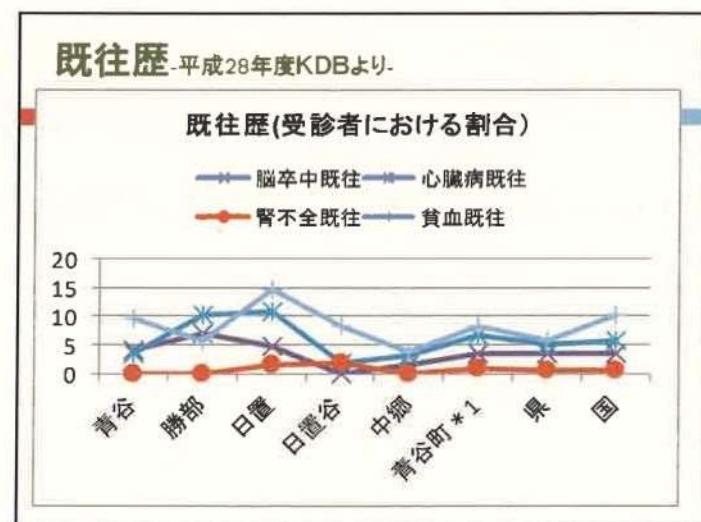
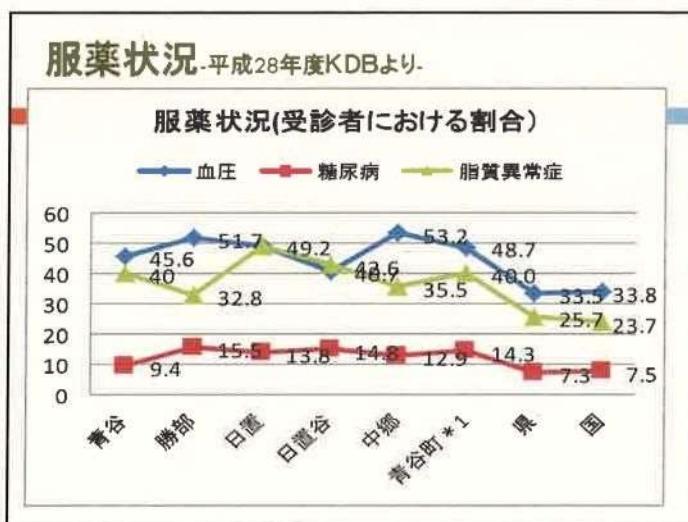
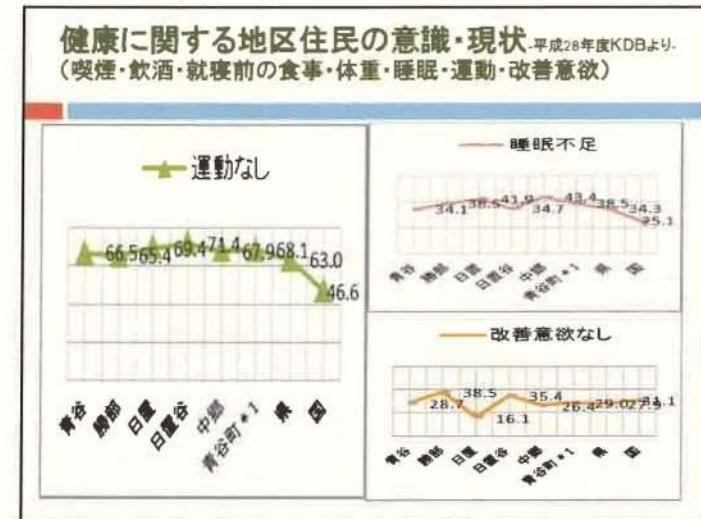
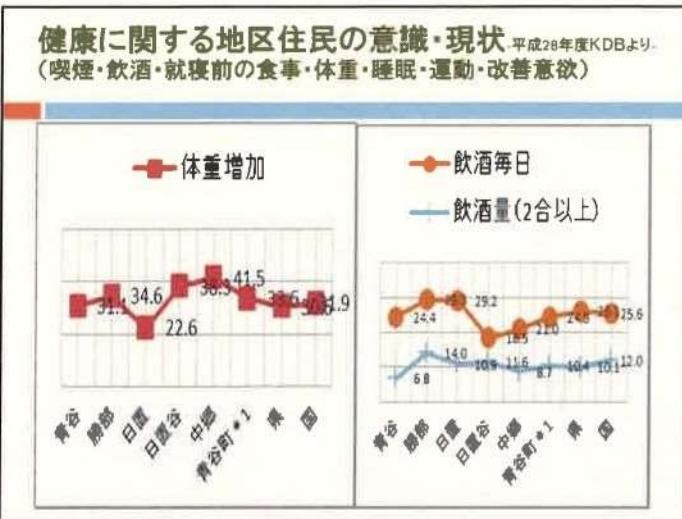
健康に関する地区住民の意識・現状-平成28年度KDBより-(喫煙・飲酒・就寝前の食事・体重・睡眠・運動・改善意欲)

● 喫煙

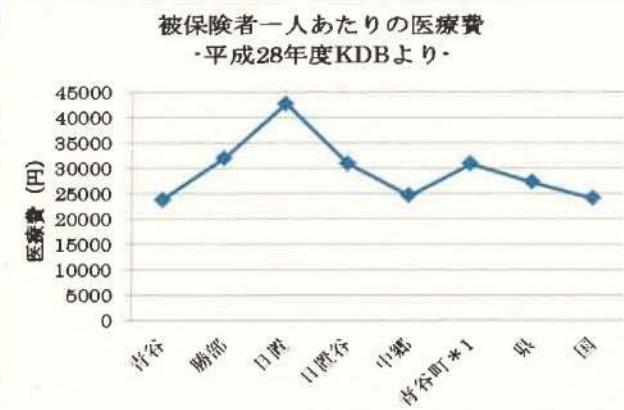


■ 就寝前夕食 ● 朝食欠食

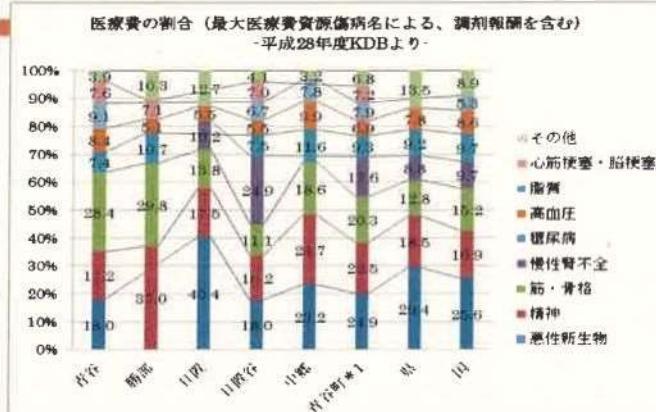




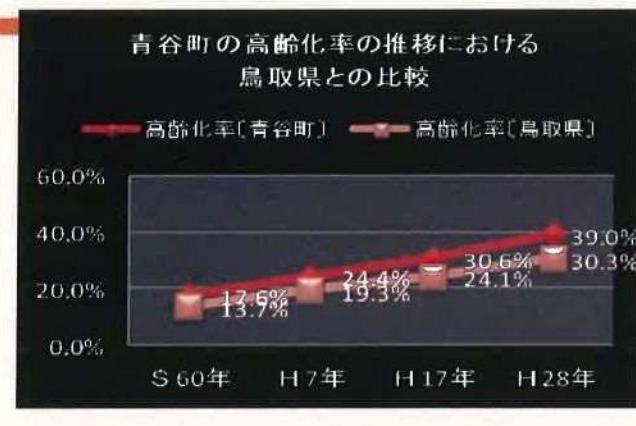
被保険者1人当たりの医療費 平成28年度KDBより.



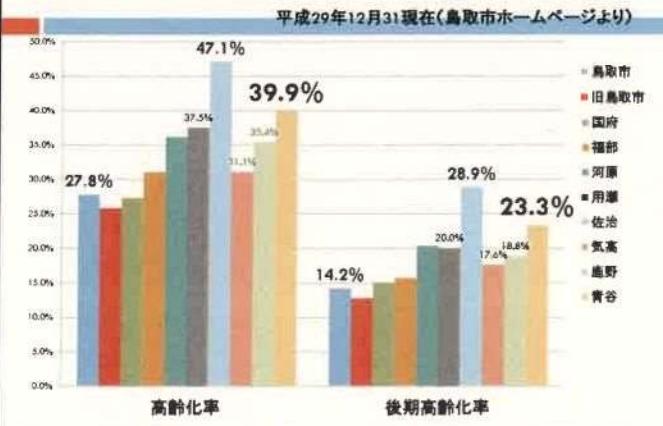
医療費の割合 -平成28年度KDBより.



高齢化率



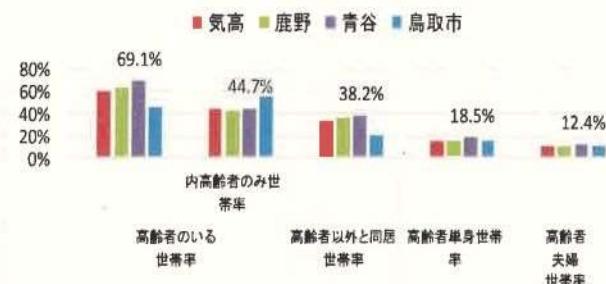
高齢化及び後期高齢化率の比較



高齢者のいる世帯率

平成27年9月30現在(鳥取市高齢社会課より)

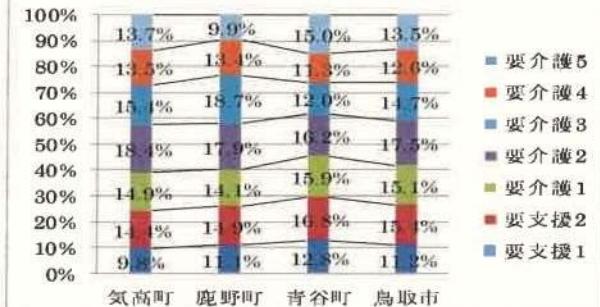
高齢者のいる世帯率(H27.9月現在)



要介護度区分別割合(西地域)

平成27年9月30現在(鳥取市高齢社会課より)

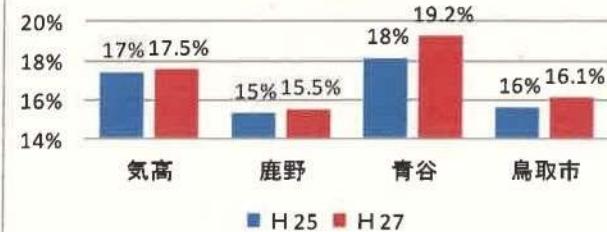
要介護度区分別割合 (西地域)



西地域の高齢者認知症有病率

平成27年9月30現在(鳥取市高齢社会課より)

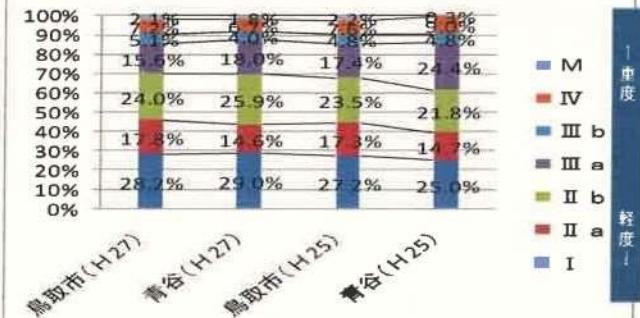
西地域の高齢者認知症有病率 (要介護認定者における認知症高齢者の割合: 日常生活自立度 I 以上)



在宅の認知症有病者(65歳以上)の割合

平成27年9月30現在(鳥取市高齢社会課より)

在宅の認知症有病者(65歳以上)の割合



青谷町における介護保険新規申請事由

平成27年4月1日～29年8月31日

- パーキンソン病、視覚・聴覚障害、その他・不明・不詳、9%
- 腹膜病、2%
- 呼吸器疾患、3%
- 高齢による衰弱、3%
- 悪性新生物、5%
- 脊髄損傷、7%
- 心疾患、8%
- 関節疾患(リウマチ等)、9%
- 認知症、23%
- 脳血管疾患、15%
- 骨折・転倒、13%

青谷町における介護保険新規申請事由

平成27年4月1日～29年8月31日

原因名	割合
脳血管疾患	18.5%
認知症	15.8%
高齢による衰弱	13.4%
骨折・転倒	11.8%
関節疾患(リウマチ等)	10.9%
心疾患	4.5%
パーキンソン病	3.4%
腹膜病	2.8%
呼吸器疾患	2.4%
悪性新生物	2.3%
脊髄損傷	2.3%
視覚・聴覚障害	1.8%
その他・不明・不詳	10.2%

住み慣れた地域で暮らし続けるためには ～地域づくりについて考えるヒント～

- ▶ 烟取市内では2番目に待ったなしの少子高齢化
→前期高齢者は青谷町の地域保健福祉の一一番の
扱い手！？
- ▶ 重度になる前に医療福祉サービスに繋がるように
なってきたが、そもそもその予防はどうなってる！？
- ▶ 精神障がい者、子育て世代の方も含め、みんなが住
みやすい地域にするには…？

鳥取県立青谷高等学校 吹奏楽部演奏会

2018 3/18(日)

開場 13:30 開演 14:00

青谷町総合支所 2階 多目的ホール

演奏曲目

天体観測

雨のち晴レルヤ

2017年ベストヒットメドレー

ほか

入場
無料

お問い合わせ:鳥取県立青谷高等学校 Tel.0857-85-0511